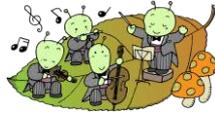


きずな通信 No.38



2020年9月15日
発行 みやぎ地域づくり交流会
事務局 宮城公民館内

地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

荒砥川美化運動

6月28日(日) 荒砥川美化運動が行われました。3月以降コロナの影響で、交流会活動が何もできずに来ましたが、徐々にですが地域活動が出来る様になりました。

当日は、梅雨の時期で雨の心配がありました。何とか開催することができました。コロナ禍と言いつ事もあり、一般の参加者はいませんでした。自治会、地域づくり交流会の皆さんだけで行いました。

参加者の皆さんは、全員マスクをしてソーシャルディスタンスを守り、体温を測り、両合羽を着ていざ草刈りです。

自治会の皆さんは、ロード宮城総合運動場、西側の河川敷歩道を担当。地域づくり交流会は、さんぼ橋の周辺の草刈りを担当しました。思ったよりも背が高い草が多く、草刈り機や手鎌を駆使して、くま手 箒を使い、頑



検温を行い、三密を避けて
の草刈り説明を聞く

張つてきれいになりました。まだまだ暑い日が続きますがコロナの影響で地域のイベントがなかなか行えない中、少人数で夕涼みしながら荒砥川の散策はいかがでしょう？
(洪沢康之 記)

作業前



作業後



宮城地区のよもやま話 ⑦ 苗島神社の石鳥居扁額

苗島神社には正面参道に2基、東の県道側入口に1基の計3基の石製鳥居があり、それぞれ神社銘の扁額が掲げられている。拓本を採取し、東側と正面の各

一基は初代群馬県令楯取素彦の揮毫で明治11年10月15日の日付が確認できたが、拝殿に近い一基は画数が多く彫りも浅い。え、私の採拓技術が劣ることから、署名や落款の文字は不詳であった。その後、地元の櫻井敏道さんから、「市文化財保護課で川鰭(かわばた)実文の書と確認できた」と連絡いただいた。拓本を

見せていただいたが、凝灰岩の扁額は風化が激しく、明治11年6月10日の日付と落款の四角な縁以外は私には分からなかった。

実文は右大臣三条実万(さねつむ)の五男で、公爵の実美(さねとみ)とは兄弟にあたり、川鰭公述(きんあきひ)の養子になり川鰭姓を名のった。

楯取素彦と神社の関係は、松村幾一さんが苗ヶ島について詳細にまとめた「苗ヶ島の昔話」に上野丑之助さんの話として、「苗島神社の楯取の揮毫は齊藤多須久翁の尽力により得られた」とあり、全国に先駆け苗ヶ島に神葬祭を取り入れた齊藤多須久翁ならではの交流があったことは十分推測できる。また、同書には(楯取素彦は)後に初代村長となる東宮六郎治と懇意であったことも記述されている。

楯取は明治15年(1882年)、後の再婚相手美和(幼名・文)と苗ヶ島の湯ノ沢温泉(赤城温泉)左次衛門の宿・湯元東屋に3泊したとの文献も見られ、その際、厚遇のお礼として、三条実美の掛け軸一幅を東屋に拝領したと前述の松村さんの著書にある。実美は、最後まで不詳だった扁額を揮毫した川鰭実文の実兄であることから、苗ヶ島と楯

取素彦・川鰭実美の繋がり、地元苗ヶ島住民・齊藤多須久翁↓初代県令・楯取素彦↓東宮六郎治翁及び湯ノ沢温泉東屋↓楯取から拝領の三条実美の掛け軸↓実美の実弟川鰭実文

の構図が考えられる。

なお、湯ノ沢温泉に同行した美和は幕末の勤皇家吉田松陰の妹で、楯取の妻・寿(明治14年に逝去)と姉妹(妹)でもある。美和は、高杉晋作とともに松下村塾の双壁といわれた久坂玄瑞に嫁いたが、久坂は元治元年(1864年)7月、長州藩を率い幕府軍の会津藩と戦った蛤御門の変で負傷し、寺嶋忠三郎と自刃している。享年25歳だった。

楯取は、美和の亡前夫の久坂が心酔した高山彦九郎を祀る高山神社創建に尽力している。ちなみに、楯取の県令就任は明治9年で、苗島神社の揮毫は2年後の明治11年、49歳のときであった。同年は多須久翁43歳、川鰭は33歳の年である。

参考図書

苗ヶ島の昔話 松村幾一著
群馬風土記55号
群馬出版センター

(五百部 記)



みやぎ七字ファミリー誕生の軌跡②

～Tシャツ編～

みやぎ七字ファミリーという地域づくりのイメージキャラクターが誕生してから、はや8年。その間、住民のみなさんに広く知ってもらうため、広報部はいろいろなグッズを製作し、販売や配布をしてきました。中でも、オリジナルTシャツは2013年に初代のデザインを発表して以来、毎年イベントなどで人気を博してきました。また、みやぎ地域内の団体の専用Tシャツとしても愛用されています。



初代 (2013～2014)



2代目 (2015～2018)



3代目 (2019～)

そして2020年、新しいプロジェクトとともに、新デザインが発表されます！

テーマは『つながろう みやぎ！プロジェクト』



コロナ禍において、各イベントが中止され、思うように集まれず触れ合えず…

ともすれば地域の人と人とのつながりが希薄になりがちな昨今。そこで、つながりを忘れないためにも、私たちができること…みやぎのオリジナルグッズを作って、みんなで身に着けてもらうことです！そこで、地域づくり交流会では、プロジェクトとして、以下の3商品を製作することになりました！

① Tシャツ



② エコバッグ



③ てぬぐい



※上記商品は2020年後半に販売開始予定。乞うご期待！

お知らせ

協力店募集！

みやぎ地区内で上記オリジナル商品を販売していただける商店様や営業所様などを募集いたします。ご興味のある方は、10月10日までに、下記まで、お申し出ください。
交流会事務局(宮城公民館内) (027) 283-6886



フェイスブックページにて地域づくり活動を紹介しています。フェイスブック内で「前橋市みやぎ地域づくり交流会」で検索！



ユーチューブチャンネル開設しました！スマホでこちらからアクセス！



！ 本年度の「みやぎいいもん祭り」は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。

